

2020年3月期 本決算概要

2020年5月8日

千代田化工建設株式会社



1

ハイライト

2

損益計算書

3

利益要因分析

4

バランスシート

5

財務基盤の強化

6

キャッシュフロー

7

受注高・受注残高

8

業績予想

9

無償減資



参考資料

1 ハイライト

リスクに対する感度・備えを高めながら、再生に向け着実に進捗。

1. 完成工事高

手持ち案件を着実に遂行

3,859億円
通期予想とほぼ同水準

2. 利益

- ・遂行中案件の損益改善
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響については一定金額を織り込み済み
- ・営業外で為替差損が発生

- ・完工総利益、営業利益は通期予想を達成
- ・純利益122億円、通期予想を下回るが、期初予想60億円の2倍

3. 財務基盤

- ・財務強化策の実行
- ・利益の積み上げ

自己資本比率は6.3%に改善

4. 受注

原油価格が大幅下落、顧客の投資計画見直し

1,798億円
通期予想を下回る

2

損益計算書

(単位:億円)

	19/3期	20/3期	前年同期比	通期予想*	達成率
完成工事高	3,420	3,859	440	3,900	99.0%
完成工事総利益	△1,811	428	2,240	420	102.0%
完成工事総利益率	△53.0%	11.1%	64.1pt	10.8%	—
販売費及び一般管理費	△186	△160	26	△170	94.3%
営業利益	△1,998	268	2,266	250	107.2%
営業外損益	68	△81	△149	△50	162.9%
経常利益	△1,930	186	2,116	200	93.2%
特別損益・法人税等	△219	△65	155	△50	129.4%
純利益**	△2,149	122	2,271	150	81.2%
為替レート(円/米ドル)	111	109		105	

* 業績予想の修正:2020年2月3日

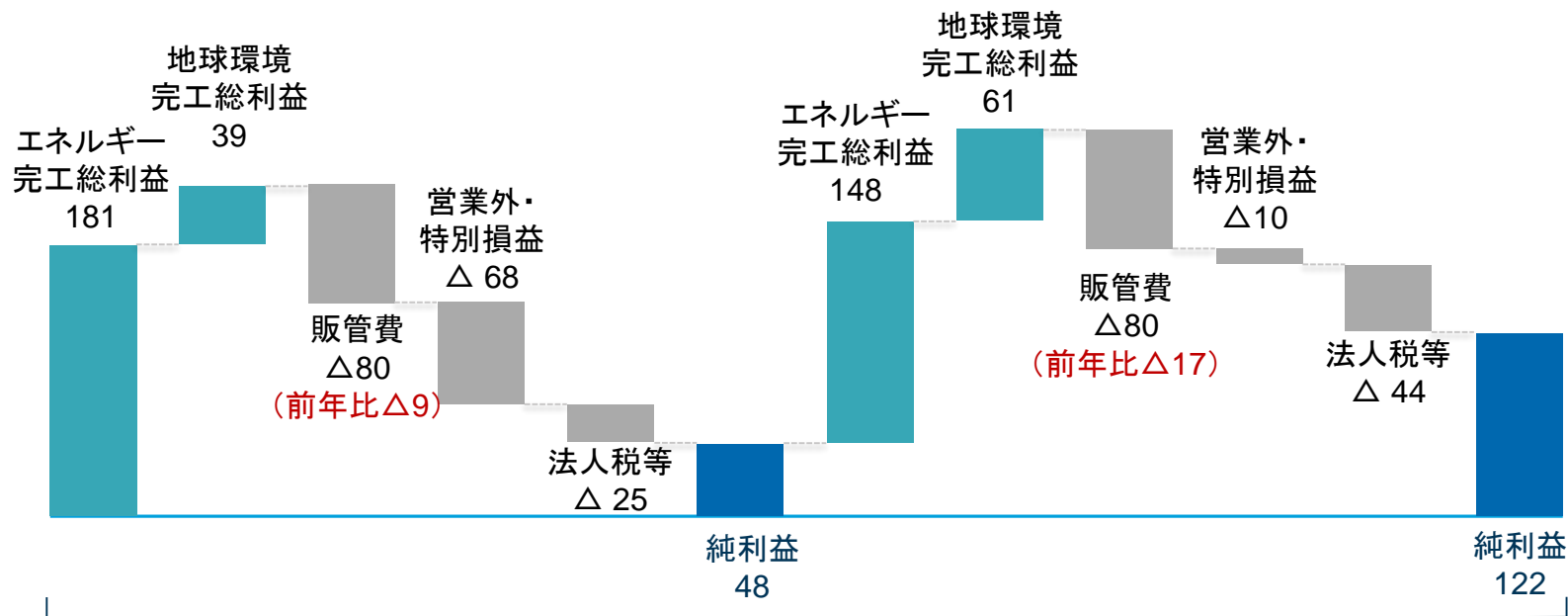
** 親会社株主に帰属する当期純利益

3 利益要因分析

通期予想を上回る完工総利益率の確保、販管費の前年比削減等により、利益を積み上げ。

20/3期 1Q-2Q 20/3期 3Q-4Q

(単位:億円)



2020年3月期完工総利益428
完工総利益率11.1% > 通期予想10.8%

4 バランスシート

(単位:億円)

	19年 3月末	20年 3月末	増減
【流動資産】	3,269	3,604	335
現金及び預金等*1	695	1,244	549
営業資産三勘定 *2	761	664	△97
未収入金	659	687	28
JV持分資産*3	1,110	960	△149
その他	44	48	3
【固定資産】	254	247	△7
有形固定資産	117	125	7
無形固定資産	53	49	△4
投資等	84	73	△11
【資産】	3,523	3,851	327

	19年 3月末	20年 3月末	増減
【流動負債】	3,925	3,199	△726
短期借入金	1	1	0
営業負債三勘定*4	2,975	2,575	△401
工事損失引当金	676	349	△328
その他	272	274	2
【固定負債】	190	402	212
内、長期借入金	159	357	199
【純資産】	△592	249	841
株主資本	△609	213	822
その他	17	36	19
【負債・純資産】	3,523	3,851	327

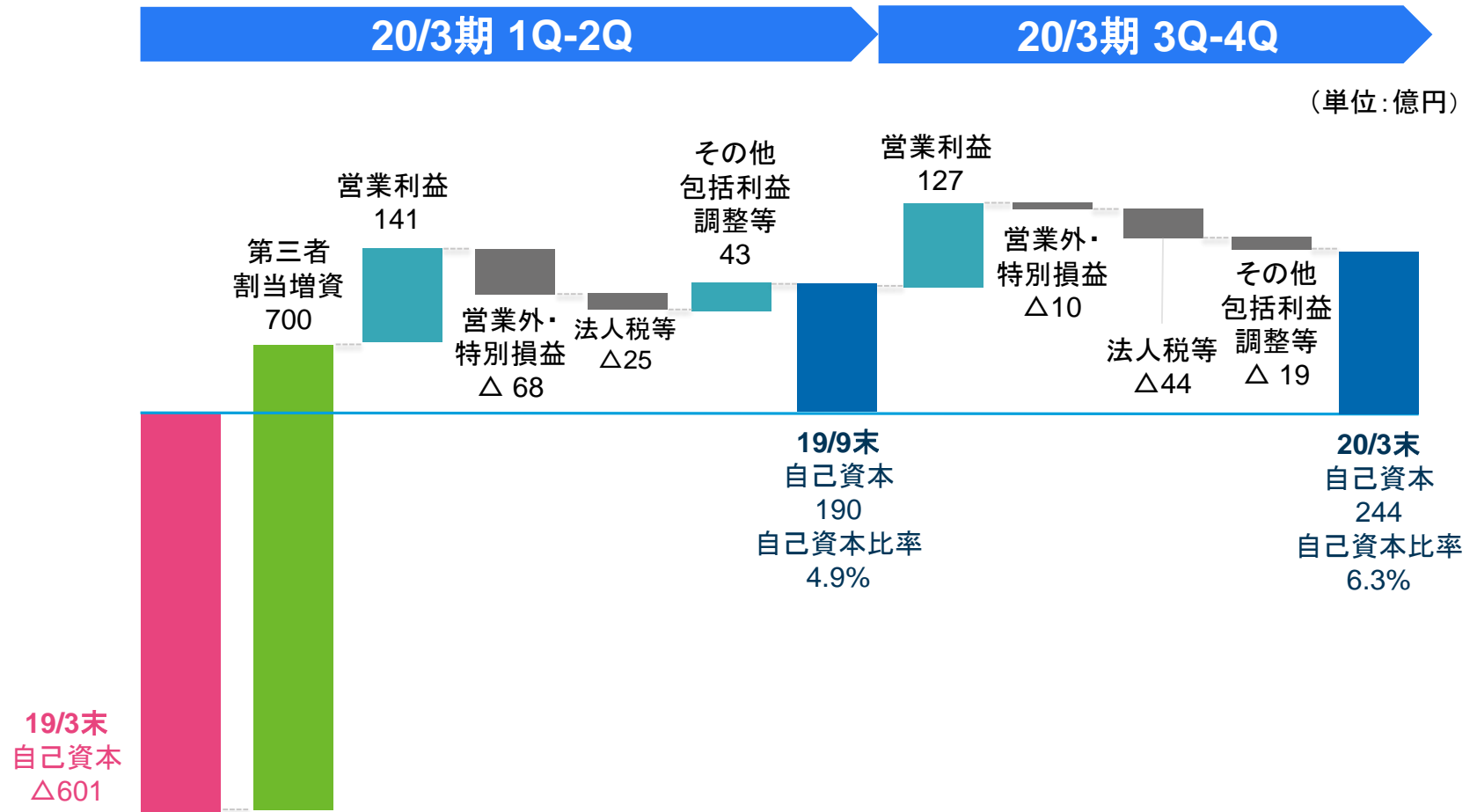
【注】

- *1 現金及び預金等＝現金預金＋有価証券(譲渡性預金等)
- *2 営業資産三勘定＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金
- *3 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金
- *4 営業負債三勘定＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

自己資本	△601	244	845
自己資本比率	△17.1%	6.3%	23.4pt

5 財務基盤の強化

第三者割当増資、利益の積み上げにより、自己資本比率は6.3%に回復。
 今後、利益の積み上げにより、自己資本比率の向上を目指す。

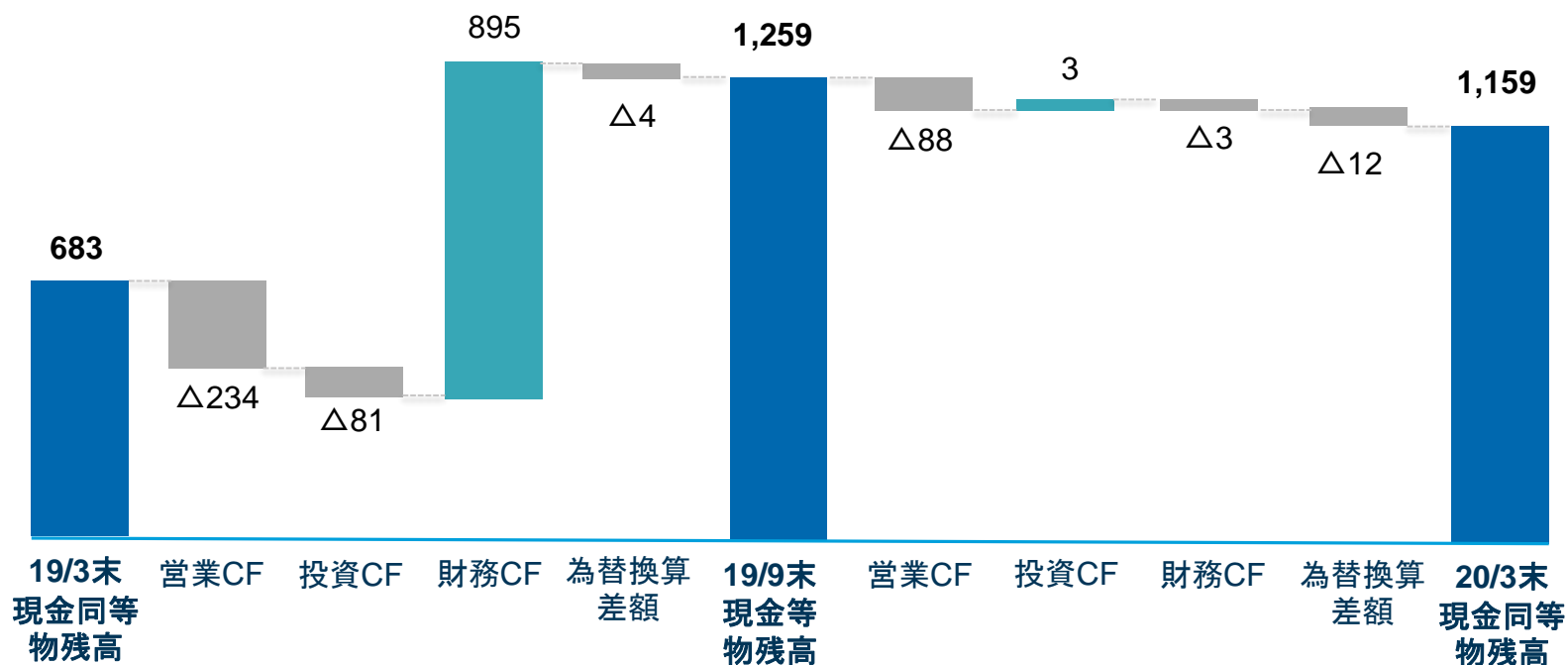


6 キャッシュフロー

財務キャッシュフロー(第三者割当増資、劣後融資)が寄与して現金同等物残高は大幅に改善、今後営業キャッシュフローの改善で積み上げを図る。



(単位:億円)



7 受注高・受注残高

エネルギー需要の減少見込みを背景に、大型新規プロジェクトの計画見直し（延期、規模縮小、中止）が相次いだため、受注高の達成率は32.7%に留まった。

（単位：億円）

	19/3期	20/3期	前年同期比	通期予想*	達成率
受注高	7,716	1,798	△5,917	5,500	32.7%
エネルギー	6,485	1,342	△5,143		
地球環境	1,231	456	△774		
受注残高	10,164	8,118	△2,045		
エネルギー	8,686	6,931	△1,755		
地球環境	1,478	1,188	△290		

*業績予想の修正:2020年2月3日

新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の停滞及び足許のエネルギー需要の減少による原油・ガス価格の下落等、当社を取り巻く事業環境の変化による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としています。

業績予想の開示が可能になった段階で、速やかに開示いたします。

弊社単体の利益剰余金の累積損失(2020年3月末:1,355億円)を解消し、財務体質の健全化を図ることを目的に、以下の無償減資を実施する予定。

1. 減資の内容

[千代田化工建設単体]

(単位:億円)

純資産の部	2020年3月末	増減額	減資実施後
資本金	784	△634	150
資本準備金	721	△721	0
利益剰余金	△1,355	1,355	0
合計	150	0	150

- ◆ 無償減資は、バランスシートの「純資産の部」における科目間の振替処理であるため、弊社の純資産の額は不変で、業績に与える影響はなし。
- ◆ 発行済株式総数の変更は行わないため、1株当たりの純資産額は不変。

2. 今後の予定

1	株主総会決議日	2020年6月25日(予定)
2	債権者異議申述最終期日	2020年7月27日(予定)
3	効力発生日	2020年8月7日(予定)

参考資料

I

完成工事高内訳

II

受注高内訳

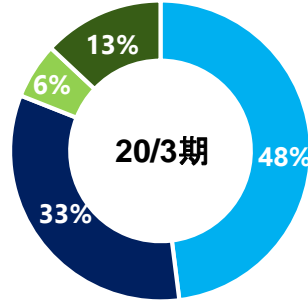
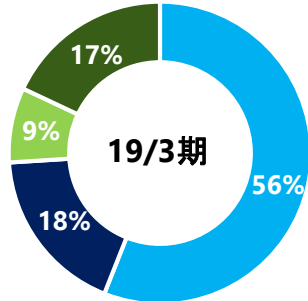
III

受注残高内訳



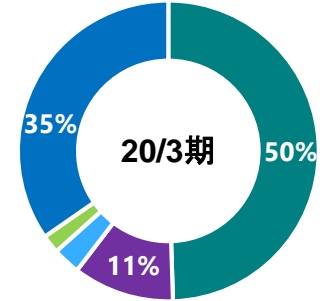
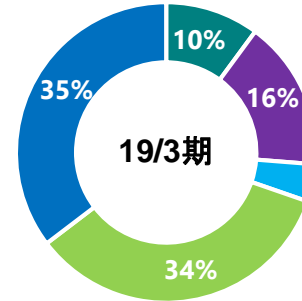
完成工事高内訳

分野別



	19/3期	20/3期
LNG・その他ガス	1,916	1,840
石油・石油化学・金属	602	1,286
医薬・生化学・一般化学	288	249
環境・新エネ・インフラ・他	614	484
合計	3,420	3,859

地域別

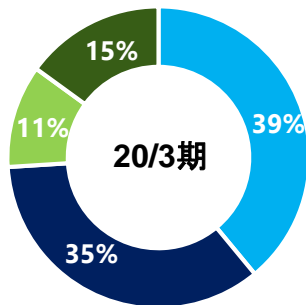
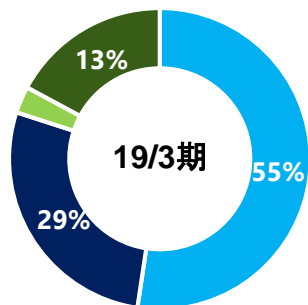


	19/3期	20/3期
北中南米	355	1,921
アジア・オセアニア	537	441
中近東・アフリカ	152	109
その他	1,172	58
国内	1,204	1,331
合計	3,420	3,859

主要案件

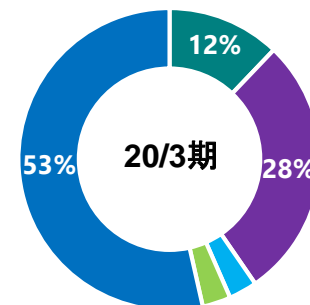
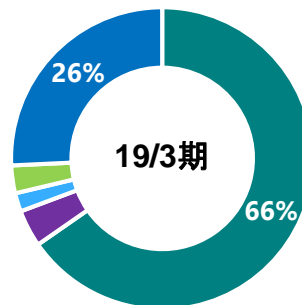
	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外		キャメロンLNG、テキサスエチレン	ゴールデンパスLNG、タンゲーLNG フリーポートLNG

分野別



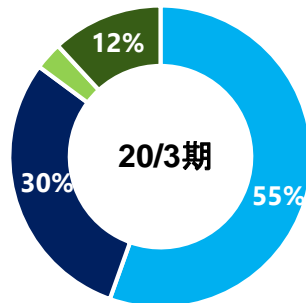
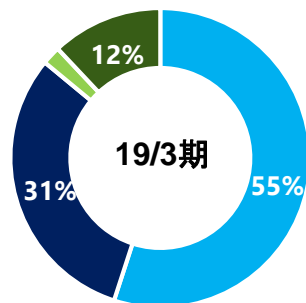
	19/3期	20/3期
LNG・その他ガス	4,214	705
石油・石油化学・金属	2,271	637
医薬・生化学・一般化学	220	190
環境・新エネ・インフラ・他	1,011	266
合計	7,716	1,798

地域別



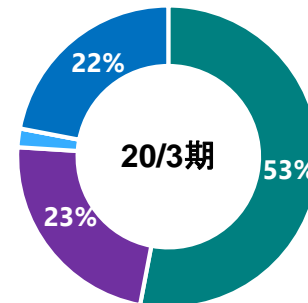
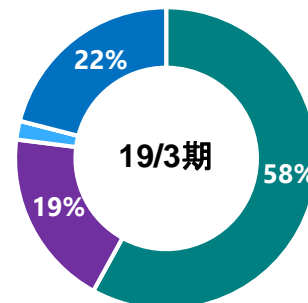
	19/3期	20/3期
北中南米	5,105	220
アジア・オセアニア	276	500
中近東・アフリカ	155	62
その他	215	58
国内	1,965	958
合計	7,716	1,798

分野別



	19/3期	20/3期
LNG・その他ガス	5,575	4,501
石油・石油化学・金属	3,111	2,429
医薬・生化学・一般化学	240	201
環境・新エネ・インフラ・他	1,238	987
合計	10,164	8,118

地域別



	19/3期	20/3期
北中南米	5,879	4,297
アジア・オセアニア	1,915	1,883
中近東・アフリカ	194	143
その他	1	0
国内	2,175	1,796
合計	10,164	8,118

主要案件

	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
海外	ゴールデンパスLNG	テキサス・エチレン、タンゲールLNG	キャメロンLNG
国内			バイオマス発電、蓄電池システム建設

永続的な発展と社会から
一層信頼される企業を目指して



*Harmony between
Energy and the Environment*

千代田化工建設株式会社 IR・広報・CSR 部 <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。